



八幡小だより 6月号

令和7年5月30日

八潮市立八幡小学校

児童405名 16学級

ピンチはチャンス！

校長 小久江 桂子



人を笑顔にするおもいやり算。みんなが笑顔になれる魔法の算数。これは、数年前にACジャパンのCMで流れていたものです。

【おもいやり算】

- + (たす) 『たす』け合うと大きな力に
- (ひく) 『ひき』受けると喜びが生まれる
- × (かける) 声を『かける』と一つになれる
- ÷ (わる) いた『わる』と笑顔が返ってくる

このCMは最後に「それは人を笑顔にする算数。『おもいやり算』。ほら、やさしいでしょ。」と結んでいます。

一人一人の力は小さくても、お互いに助け合うことで、より大きな力を発揮することができます。



ちょっとした事を引き受けることで、お互いに喜び合える関係になります。

あいさつを含め、優しい言葉や励ましの言葉をかけることで、お互いの心が一つになります。



相手をいたわる思いやりの心で人と接すれば、みんな笑顔になります。

困っていたり、悩んでいたりと、心の中は見えにくいけれど、『たす・ひく・かける・わる』の優しさがあれば、きっと気持ちは通じ合うと、私は思います。そして、その優しさの人が人を笑顔にすると、私は感じています。まずは自分から心がけていきます。



先日、職場で私がピンチに陥りました。その時、まさに『おもいやり算』を痛感。本校の教職員が一丸となって、助け合い、仕事を引き受け合い、言葉をかけ合い、いたわり合い……。おかげで、無事にピンチを笑顔で乗り切ることができました。教職員の姿に感謝感謝の日々でした。

そして、子供たちの笑顔が私を元気にしてくれました。

保護者の皆様にも、地域の皆様にも、温かく見守っていただきました。ありがとうございました。

ピンチはチャンス！これからも教職員一同、『みんな笑顔の八幡小学校』の具現化に努めます。